

キャラクター名
瀬川 礼司 (せがわ れいじ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン		ワークス	生徒会役員B	カヴァー	
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	35	%
出自			経験	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	0	1		1	行動値	8
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉	1	
回避	4		知覚	1		意志			調達	1	
運転 <small>：白兵 射撃 回避</small>	3		芸術			知識			情報 <small>：UGN</small>	1	
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		
運転			芸術			知識			情報		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
Cランク I	
学園通の友人	
購買部情報網	
文殿寮特務証書	
学園の腕章	
ラッキーメダル：ホワイト	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生徒会	P 連帯感	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
戦術	4	5	セットアップ	視界	シーン	自動	-	
効果： ラウンド中対象のメジャーアクションのダイス+LV個								
アドヴァイス	1	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果： 次に対象が行うメジャーアクションのクリティカル値-1 & ダイス+LV個								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果： 判定達成値+[LV×3] ラウンド1回								
天性のひらめき	3	4	メジャー	-	-	-	-	
効果： 判定のクリティカル値-[LV]								
ブラックマーケット	2		常時		自身		-	
効果： 常備化ポイント+[LV×10]								
インスピレーション	1	2	メジャー			自動	-	
効果： GMIに質問。シナリオLV回								
妨害排除	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 対象が判定を行う直前に使用。ダイス減少無効。シナリオLV回								
代謝制御	★		常時					
効果：								
究極鑑定	★		メジャー					
効果： アイテム鑑定								
暗号解読	★		メジャー					
効果：								
プロファイリング	★		メジャー					
効果：								
効果：								
効果：								

高等部3年生。生徒会庶務。

10歳の頃に学園艦初等部に編入。
幼い頃から強い力を持ったヒーローへの憧れがあり、自らがオーヴァードに目覚めた際も憧れていたヒーローになれることに胸を踊らせていた。
しかし能力測定の結果はCランク下位。とても才能があるとは言えないものだった。
それでも憧れを捨てきれない少年は能力を高めるべく日々訓練を続ける。
だが少年がいくら努力を積み重ねても能力の向上には至らず、いくつかのイージーエフェクトを習得したのみ。
少年が憧れていた超人的な力を振るい強大な悪と戦うヒーローたちには遠く及ばない。
いつしか少年は自らの才能に見切りをつけ、かつての憧れには埃が積もってゆく.....

高等部3年生となった礼司は生徒会で庶務を務める。
生徒会には中等部の時から所属しているが、生徒会に入った理由は「特別な存在」への憧れがまだあったからだろうか.....今ではよく覚えていない。
皮肉にも長年の努力により事務処理能力や簡単な能力を活かした調査能力は高く、生徒会役員たちからは信頼されている。
しかし自身はそのことに価値を見出しておらず、他者から褒められた際も「こんなことは少し訓練すれば誰にだって出来るさ」と口癖のように言っている。
実際、一部の実力主義・能力至上主義の間人には、初等部からの在籍者である割にオーヴァードとしての能力が弱い彼を低く見ている者もあり、本人もその評価を当然のものと思っている。

高等部を卒業した後は一般の大学に進学し、学園艦やオーヴァードとは無縁の進路へ進もうと考えている。

「私は人より少しばかり器用なだけさ。小手先の技術ばかり身につけてきたからね。」